

平成26年11月27日

〔ボーナス予想〕 冬のボーナスについて

～官公庁、民間とも増加を予想～

佐賀銀行（頭取 陣内 芳博）は、佐賀県内における今年の冬のボーナス支給額について、下記のとおり推計しましたので、お知らせいたします。

記

1. 推計結果の特徴

- (1) 官公庁のボーナス総支給額は、前年比12.96%増になると推計しました。
- (2) 民間のボーナス総支給額は、前年比4.45%増になると推計しました。
- (3) この結果、官民合計のボーナス総支給額については、前年比6.81%の増加になるものと推計しました。

支給総額

	平成26年冬		平成25年冬	
		前年比		前年比
官公庁	244億円	12.96%	216億円	△1.82%
民間	587億円	4.45%	562億円	1.44%
合計	831億円	6.81%	778億円	0.52%

※表中の数字は単位未満を切捨てて表示しています。

※民間の事業所については、従業員数5人以上について推計しています。

2. 推計の根拠

(1) 官公庁について

今冬の期末・勤勉手当（ボーナス）の支給月数は、国家公務員、佐賀県職員および佐賀県内市町公務員ともに2.20カ月分（昨年冬季比0.15カ月増）と想定し算出いたしました。

今年の人事院勧告等により、冬季のボーナスの支給月数の引き上げと、国家公務員の賞与の減額措置が終了したことから、総支給額は前年比28億円増（支給額の増加による要因30億円、対象人員の減少による要因△2億円）の244億円と推計しました。

※国家公務員の給与減額措置は「国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律」による。

(2) 民間について

県内の雇用環境の改善により、常用雇用者数は前年を上回っていると想定されます。

また、企業収益は緩やかに改善しており、所定内給与も若干上回っていると想定されます。

その結果、一人あたり平均支給額は、前年の冬のボーナスとの比較では約2%、1人あたり約6千円の増加を見込んでいます。

これらの要因により、総支給額は前年比25億円増加し（支給額の増加による要因11億円、対象人員の増加による要因14億円）587億円になるものと推計しました。

以上

本件に関するお問合せ先

総合企画部（中島・松尾）

TEL 0952(25)4553